



## 【参加国】55の国と地域 【参加作品数】339作品

### 「日本賞」一次審査通過作品

#### コンテンツ部門・5カテゴリー

- ①幼児向け(0歳～6歳) 9作品  
ノルウェー、カナダ、日本、イギリス、タイ、トルコなど 9作品
- ②児童向け(6歳～12歳) 10作品  
オランダ、イギリス、台湾、スイス、ドイツ、カナダなど 10作品
- ③青少年向け(12歳～17歳) 10作品  
スウェーデン、フランス、アルゼンチン、中国、コロンビアなど 10作品
- ④一般向け(18歳以上) 10作品  
アメリカ、南アフリカ、イタリア、イラン、ハンガリーなど 10作品
- ⑤クリエイティブ・フロンティア 6作品  
オランダ、アメリカ、スウェーデン、インド、マレーシアなど6作品

#### 企画部門

バングラデシュ、フィリピン、パレスチナ、ブータン、コロンビアの5企画

詳細は <http://www.nhk.or.jp/jp-prize/>

#### 主な日程 【開催期間は10月15日(木)～22日(木)】

- 10月15日 開会式
- 10月15日～20日 審査、一次審査通過作品上映会
- 10月21日 IPCEM(イプセム・教育コンテンツ世界制作者会議)
- 10月22日 授賞式

## NHK会長賞 受賞者 決定

### Dr. Milton Chen (ミルトン・チェン氏/62)

○ジョージ・ルーカス教育財団 特別顧問 / アメリカ  
1970年代に「セサミストリート」の番組に貢献。1998年からジョージ・ルーカス教育財団へ。世界10カ国で100講演以上おこなう。



### Mr. George Auckland (ジョージ・オークランド氏/67)

○元BBCラーニング学習開発局長 / イギリス  
BBCで生涯学習に多大な貢献をし、特に教育分野へのインターネット導入に関して、世界の先駆的な役割を果たす。



### Ms. Moneeza Hashmi (モニーザ・ハシミ氏/69)

○公共メディア連盟会長 / パキスタン  
パキスタンテレビ放送協会での初の女性編成局長となり、幼児・子供番組の発展に尽力。ABUでも子供や女性の教育向上に寄与。



## 授賞式 司会 木村佳乃



### 【木村さんからのメッセージ】

「日本賞の司会を務めるのは2007年に続いて2回目です。子育てをするようになり、より教育番組に関心を持つようになりました。子供だけでなく、大人が観ても楽しめる番組も沢山あります。世界の子どもたちはどんな番組を見ているのでしょうか。世界各国から集まった教育番組に出会えるのを、私もワクワク楽しみにしています。」

## 50周年関連企画

### ★「U18 ぼくらの未来」

10月17日 日本科学未来館

MIT(マサチューセッツ工科大学)メディアラボ所長の伊藤穰一さんが「未来」をテーマに200人の中高生とディスカッション。自分たちでアプリを開発したり、最新のメディア技術を駆使したアートパフォーマンスに挑戦する高校生が、白熱のプレゼンを行う。

### ★「上智大学で受賞作品の上映とシンポジウム」

10月24日 上智大学四谷キャンパス

受賞作が決定した後に、上智大学の国際会議場で、国連広報センターと上智大学、そしてNHKがタイアップで受賞作品の上映会とシンポジウムを開催。昨年の、企画部門最優秀作品の上映と報告会も実施。